

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

直江津東中学校区すこやかネットワークだより

令和元年度 第9号  
令和2年2月15日発行  
<発行・編集>  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL : 025-543-2729  
FAX : 025-543-4150  
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

## 「キャリア教育」今年度も継続実践中！

「キャリア教育」を中核とした生き方教育を、直東学園で推進して5年目となります。

新学習指導要領が、本格実施されます。(小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から) キャリア教育は、特別活動の中に位置付けられ、学校教育活動全体を通して推進することとなっています。これからも大切な取組として継続されていくことになるでしょう。

ここ数年、目に見えて直東学園の小中学校で、落ち着いたのがある学びが展開されています。これまで小中連携して取り組んできたキャリア教育の成果が形になりつつあることも一因でしょう。

今年度も右上表の「育てたい資質・能力」の育成に向けて、各校で実践し、評価し、改善し、よりよい取組となるよう様々な工夫をこらしています。直東学園が大切にしている「あいさつ運動」

の取組も、「人間関係形成能力」と深く関わった取組です。

左写真のマジシャン・カズさんも「挨拶」「人の縁」「やるなら中途半端でなく徹底してやる」ことを強調されていました。たくさんの自立・自律した大人の生き様にふれ、生き方見本となるような人との出会いがあり、人生をよりよくしていく指針をもてるようなキャリア教育を実践し続けていきたいものです。



卒業生でもあるマジシャン・カズさんからキャリア教育の授業を受ける春新6年生

育てたい資質・能力

人間関係形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

郷土愛

## キャリア・パスポートの取組が始まります

文部科学省及び県・市から通知があり、令和2年度から、キャリア・パスポートの取組がスタートします。「キャリア・パスポート」って何？と思われる方も多いことでしょう。

キャリア・パスポートは、一言で言えば、キャリア教育にかかわる学びの履歴です。小学校1年生から、高校3年生まで、折々に自分のキャリア形成や学びの様子を記録し、自分の成長や考え方の変遷を振り返られるようにしようという取組です。

1年間でA4サイズ5枚以内という上限があり、どんな内容を、どの程度記録し、どんな方法で保管していくか、現在検討中です。中学校区で足並みをそろえて取り組むことになっています。皆様には、次の3点をご承知おきいただきたいと思ひます。

- 1点目。キャリア・パスポートの取組が、令和2年度からスタートすること。
- 2点目。キャリア・パスポートの内容や活用方法を検討中であること。
- 3点目。皆様からもメッセージ記載などの協力をお願いすることがあること。(「大人からのメッセージ欄」を設けるなど、会話的にかかわることができるようにする必要がある)と指定されているため)

取組の様子を、お見守りいただければ幸いです。よろしくお願ひします。

## 北諏訪小学校の取組

### 【キャリアプランニングと人間関係形成力】

下学年は、先生や地域の人と野菜づくりや植物の世話を通して、積極的に関わりをもつことで、自らの成長や地域、家族の支えに気付くことができました。

上学年になると、係や委員会だけでなく、縦割り班活動などで下学年に優しくアドバイスをしたり、一緒に遊んだりする中で、相手の考えや行動を意識してこうとする力がつきました。

様々な活動を通して、全校が仲良くなる仕組みを進めることができました。



### 【課題解決能力と自己管理能力の育成】



3年生の地域学習や4年生の環境学習では、解決したい問題をインターネットで調べるだけでなく、内容に応じて本を使ったり、現地に行ってインタビューをしたり、専門の方を招いて講話を聞いたりしました。

こうした活動を通じて、どのようにすれば問題を解決することができるかを一年を通して学んできました。情報の収集力だけでなく、取捨選択する力も身に付きました。

### 【協働性・共感性・郷土愛の育成】

学級活動や行事の中で、目標に向かって活動することや相手の気持ちを考えた言動をすることの大切さを、人と関わり、実感しながら、学びを深めることができました。

また、米づくりや平和学習、仕事体験等をしていく中で、「人・地域・自分」を見つめ直し、これからの自分に何ができるかを真剣に考えるよいきっかけにもなりました。



## 保倉小学校の取組

キャリア教育の5つの資質・能力を育むために、生活科や総合的な学習の時間、特別活動を中心に取り組んできました。実践をする上で大切にしてきたことは「人とかかわる」「社会とつながる」「自分を見つめる」の3つの視点です。

### 【人とかかわる・自分を見つめる】

6年生は、総合的な学習の時間に、「夢に向かって～探ろう！保倉のプロフェッショナル～」というテーマで施設訪問や職場体験を行いました。佐渡への修学旅行では、竹細工職人をはじめとして多くの方に直接お会いして「働く人の願いや思い」を学びました。そして、学んだことを生かして、保倉地域で施設訪問を行い、働く人たちの「プロフェッショナルの流儀」としてまとめました。

子どもたちは「働くことは、誰かを幸せにする」「プロとして働く時には、安全・安心に十分配慮しなければならない」「私も人を笑顔にすることができる仕事をしたい」と、自分の将来を見つめました。



### 【社会とかかわる】

3年生は、総合的な学習の時間に、保倉地域に伝わる「剣の舞」について調べました。30年以上続いていた舞が一旦途絶え、5年生が一昨年復活させたことを知り、自分たちも地域の伝統を引き継ぎたいと舞の練習を始めました。青野地域の方から、10回以上教えていただき、50周年記念ほくら文化祭で舞を披露しました。お囃子担当の青野伝統芸能保存会の方々からも褒めていただき、誇らしい気持ちをもちました。



## 有田小学校の取組

【低学年】～人間関係形成、自己管理～

1年生は、仲間と協力しながら「ヤギさんとなかよし」の学習を行いました。活動を通して、相手を思いやる気持ちや、自分ができることに進んで取り組む姿勢を学びました。2年生は、生活科「野菜をつくろう」の学習を通して、仲間や地域の方と協力して作業するよさを学びました。また、害虫などの駆除を目的に課題解決の方法を学びました。

【中学年】～共感性、情報活用～

3年生は、住んでいる町を探検し、地域の魅力を発見する活動を行いました。発見したお宝を「ポスター」としてまとめ、自分の住む町のよさに気付くとともに、情報の収集とまとめ方について学びました。4年生は、水やごみなどの身近な環境について学びました。環境問題を自分事としてとらえ、新聞やチラシ・放送などいろいろな方法を考えて発信しました。

【高学年】～自己管理、協働性～

5年生は通年で米作りを行い、新潟の産業としての米作りについて広く学びました。地域愛を育むと同時に、地域へ情報発信する活動を通して、仲間と共に活動するよさを学びました。6年生は、仕事や働くことの意義について学びました。専門の講師をお呼びしたり、実際に職場に出向いたりしながら、働くことの喜びや苦勞を味わいました。この活動を通して、自身の将来について考え、夢や目標をもちました。

5年生 米作り、稲刈り



## 春日新田小学校の取組

キャリア教育を教育課程の中核に据え、学校の教育活動全体を通して、キャリア教育の視点から資質・能力の育成に取り組んでいます。

**<人とかがわる>かかわり方スキルを全校で！**

今年度は、上越教育大学の学校支援プロジェクトと連携し、「かかわり方スキル」を意識した SST や授業に全校で取り組みました。気持ちのよいかかわり方を意識することで学級や学校に温かい雰囲気醸成されました。異学年交流の場面でも「かかわり方スキル」を活用し、なかよし班遊びやメッセージ交換会で、高学年は、リーダーとしての役割を自覚し、班の仲間が協力して活動できるようにリーダーシップを発揮しました。また、下学年は、協力しながら自分の役割を責任もって果たそうとする姿が見られました。

**<社会とかがわる>生活・総合的な学習の充実！**



3年生は、総合的な学習の時間に「きらめき☆上越たんけん隊おもてなしプロジェクト」を年間テーマに掲げ、地域の方に喜んでもらえる活動がしたいと、350 祭りに参加し、小さい子からご高齢の方々まで楽しんでいただけるステージ発表や屋台を行いました。

また、障害のある方の就労を目的に作られたパン屋さんとの交流活動を通して福祉について学び、パン作りやポッチャ体験を行いました。地域のために貢献することができたという成就感を味わうことができました。

**<自分を見つめる>夢を語り合う場づくり！**

夏休みの課題で「わたしの夢シート」を全校実施しました。自分の夢を家族と語り合うことで、家族から大切にされて、夢を応援されていることを実感し、自分の将来を考えるよい機会となりました。

## 直江津東中学校の取組

### 【ようこそ先輩（1年生の取組）】

卒業生9名の方から講師をしていただき、働くことの意義、楽しさや苦しさなどを伝えていただきました。「今日話を聞いて、コミュニケーション能力が大切で、今からでも仕事に役立つことができることが分かりました」など、生徒の感想もたいへん前向きな内容が多かったです。

### 【立志式（2年生の取組）】

式の前半は、入学式からの歩みをスライドショーで振り返りました。その後、グループに分かれ“10年後の自分”をテーマに語り合いました。具体的な職業名や自分の生き方について話し合うことができました。



### 【卒業生に聞く会（3年生の取組）】

今年は10名の高校生から来ていただき、「どんな受験勉強をしたのか」「今、何をがんばればいいのか」「高校生活はどんなものか」などの話を聞きました。高校生活を充実させるためには、やはり学習を一番に考えてがんばることが大切だと言うことが分かりました。



## 4 小学校共通の取組

### 【マスコミに学ぶ】学習会(5学年)

11月14日に、直東学園にある4つの小学校の5年生165名が春日新田小に集まり、「マスコミに学ぶ」学習会を行いました。

5年生は社会科でマスコミの仕事について学習します。この合同学習の機会に、4小学校が共通の内容を学習することができます。また、5年生は将来の自分の仕事について思いを巡らせる時期です。キャリア教育の視点から、「マスコミという仕事に誇りとやりがいをもって努力するプロの姿」から学ぶことを期待しました。

そこで、新潟日報上越支社の石口あさひ記者とJCV上越ケーブルビジョンの鶴見幸恵アナウンサーを講師にお招きしました。

石口さんからは、他の仕事から新聞記者へ転身した経緯や取材される人の気持ちに寄り添って仕事をする心構えなど、日々の忙しい取材現場をもとにした話をいただきました。鶴見さんからは、アナウンサーの仕事で大切にしていること、相手に伝わるアナウンスをするための日々のトレーニングなどの話をいただきました。具体的に早口言葉の練習方法を示していただき、子どもたちは興味をもって挑戦していました。

真剣に話を聞いてメモを取り、積極的に質問をしていた5年生の姿に、参加した教職員はとても感心していました。この学習

に臨むに当たって、各校では事前学習が十分になされていたことが伺われ、合同学習の成果を実感すること【インタビューを体験することができました。5年生】

